

公益資本主義海外教室
事業企画書

公益社団法人日本青年会議所
公益資本主義推進会議

公益資本主義とは

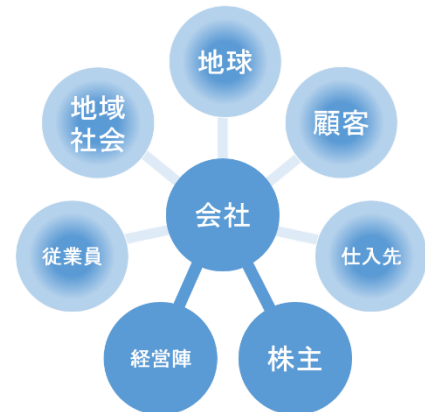
現在の利益追求型の資本主義では、世界中に存在する多様な社会の一つひとつ、そこで暮らす一人ひとりを幸せにしていくことはできません。これからは、それを転換するような、新たな資本主義を創り上げていかなくてはならないのです。そこで我々は、社会全体の利益を考える資本主義、「公益資本主義」を提唱します。

現在の世界情勢における資本主義では、会社は株主だけのものという風潮が強く、株主利益を最大化することによって、経営陣にも熱く利益が分配される仕組みになっています。従業員・顧客・仕入れ先・地域社会・地球全体は会社が利益を上げるための手段にしかすぎません。一方、公益資本主義のあり方は、会社は株主だけのものではなく、従業員・顧客・仕入れ先・地域社会・さらには地球全体といった多くのステークホルダーのものとなります。株主の利益を追求するよりも、企業がそれぞれのステークホルダーや地域社会への貢献を第一に考えて行動したほうが、より多くの人々を幸福にし、経済全体もまた持続的に成長することができる。別の面から言えば、中長期の視野に立った経営や投資というものを可能にしてくれる仕組みであり、考え方でもあるのです。それが「資本主義の本来のあるべき姿」です。



公益資本主義における会社のあり方

会社は株主だけではなく、従業員・顧客・仕入れ先・地域社会・さらには地球全体といった多くのステークホルダーを持ちます。



株主資本主義における会社のあり方

会社は株主だけのものであり、株主利益を最大化することによって、経営陣にも熱く利益が配分される仕組みとなっています。

事業実施に至る背景

グローバリズムという経済戦争に歯止めをかけていくには、日本型の資本主義である「公益資本主義」の考え方を、これからの未来を担う青少年に学んでもらう必要があります。特に開発途上国の青少年に日本の伝統的な価値観を浸透していくことができれば、豊かな暮らしに向けて健全に発展していくことができます。

事業目的

公益資本主義の価値観と必要性を理解し、自国の問題に対する当事者意識を持ち、課題解決に向け行動していくことを目的とします。

事業対象者

あしなが育英会ウガンダ 心塾	学生約30名
あしなが育英会ウガンダ レインボーハウス	学生50名
ウガンダ共和国内	教師50名

※あしなが育英会ウガンダとは

日本の慈善団体・あしなが育英会が2003年にウガンダ共和国に設立した現地法人であり、4歳～高校生以下を保護するあしなが育英会ウガンダ レインボーハウスと、サブサハラ各国から、内戦やHIVなどで親を亡くし成績は優秀にもかかわらず経済的な理由で大学進学できない学生たちに対して、半年間の研修を受けさせた後、ヨーロッパやアメリカの大学に留学させるなどの支援活動をする、あしなが育英会ウガンダ 心塾の2か所の施設を運営しています。

実施日時

2017年 8月23日～8月31日

実施場所

あしなが育英会ウガンダ 心塾教室、及びレインボーハウス教室

主な事業内容

■公益資本主義を学ぶ講義の実施

現在、世界で蔓延している、株主の利益だけを追求する株主資本主義ではなく、経営者・従業員・仕入先・顧客・地域社会・環境・そして地球全体に貢献していく考え方について、公益資本主義の基本的な部分を、映像や講義を通じて学びます。

■公益資本主義を広める人材育成教室の実施

「アフリカで公益資本主義を広めていくには？」をテーマに学生に問題を投げかけ議論します。公益資本主義を自国にどのように広めていくか。また、広めていくに当たり、何が弊害となるのか。どのように解決し浸透させていくか（どのように周りの人たちを巻き込んでいけば良いのか）、それを誰が実践していくのかについて考えます。公益資本主義白熱教室を受けて、自分たちが国をどのようにしていきたいか、5～6人のグループに分かれて話し合います。そして、アフリカで公益資本主義を広めるためのビジョンを作成します。